

環境目標 4 資源を大切に持続可能なまち

基本施策① 3Rと適正な廃棄物処理の推進

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
★1人1日あたりごみ排出量(集団回収を含む)	g/人日	H19	1,305	H25	1,093	H26	1,073	↑	H24	1,173	H29	1,115
★リサイクル率	%	H19	22.4	H25	33.1	H26	29.1	↓	H24	35.0	H29	35.0
最終処分率(ごみ総排出量に対する埋立処分量の割合)	%	H19	11.4	H25	3.1	H26	3.0	→	H24	3.1	H29	2.9
可燃ごみの資源物の混入率	%	H19	20.0	H25	17.0	H26	10.0	↑	H24	15.0	H29	10.0

【評価(数値目標の達成状況等)】

「1人1日あたりごみ排出量(集団回収を含む)」については、昨年度と比較すると減少しており、引き続き最終年度の数値目標を上回る水準を維持しています。「リサイクル率」の低下は、清掃工場の発電設備が故障により8月から12月までの約4ヶ月間停止したことに伴い、ごみ焼却熱を利用した発電に伴う熱回収量(サーマルリサイクル量)の減少によるものです。両指標について、今後も市民(地域)・事業者の排出抑制・再使用への自主的な取組みの促進・支援を行うとともに、分別の更なる徹底による排出段階での資源化を図ります。

「可燃ごみの資源物への混入率」については、前年度から大幅に減少し、最終年度の数値目標を達成しました。最終年度の数値目標を上回るよう、更なる啓発に努めます。

【主な取組状況(平成26年度)】

主要施策	(1) ごみ減量・資源化の周知と意識の高揚
具体的な施策・事業(担当課)	
<p>ア ごみ・資源物の収集日の周知徹底(資源循環推進課、清掃事務所) 市民への周知方法として、ごみ・資源収集カレンダーの作成・配布(平成26年度:120,000部)及びホームページによる情報提供を行いました。</p> <p>また、民間業者にごみ・資源の収集日等の情報を提供し、民間のごみ情報配信サービスに寄与しました。</p>	
	

イ 相談対応の充実（資源循環推進課） **重点プロジェクト**

ごみ情報ダイヤルを設置し、平成21年3月からサービス開始しました。

【ごみ情報ダイヤル】

ごみの分別方法等の各種お問い合わせに対応するための、専用電話番号です。
☎083-902-0033 / 受付時間：平日8時30分～17時15分

項目 \ 年度	H24	H25	H26
相談件数	1,170	2,055	2,295

ウ 情報提供の充実（資源循環推進課、清掃事務所） **重点プロジェクト**

市報（8回掲載）や地域情報紙への記事の掲載、ホームページの内容充実、保存版ごみ分別の手引きの発行により情報提供を行いました。

エ リサイクル啓発イベントや出前講座の開設（資源循環推進課）

市民が参加して、楽しく学べる啓発イベントとして「エコパークまつり」を実施し、多くの方が来場されました。

また、大学や町内会を中心に、「エコ出前講座」として分別説明会を実施しました。

【エコパークまつり参加人数】2,851人

オ リサイクルプラザにおける環境学習等の充実（資源循環推進課） **重点プロジェクト**

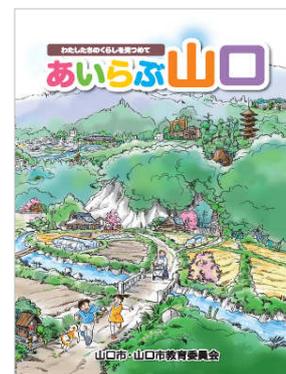
ボランティア団体「やまぐちエコ倶楽部」への事業委託により、リサイクル講座や、おもちゃの病院、フリーマーケット等を開催しました。

項目 \ 年度	H24	H25	H26
リサイクル講座開催数	313	338	286
おもちゃの病院開催数	12	12	13
フリーマーケット開催数	8	9	5

カ 小学生向け環境副読本の充実（資源循環推進課、学校教育課）

子どもの頃から人間と環境の関わりを理解し、環境問題を自分の問題として捉えることのできる子どもの育成を目指し、小学4年生を対象とする環境副読本「あいらぶ山口」を作成しました。この副読本は、小学校の先生が編集委員となり、子ども達の目線に立った実践的な内容とし、漫画家なかはらかぜ氏と先生達手作りの登場人物や絵、図表を十分に盛り込まれた、大変親しみの持てるものになっております。

毎年度、市内全小学校に配布し、小学4年生の社会科「ごみの処理と活用」の学習教材として活用しています。



項目 \ 年度	H24	H25	H26
配布数（部）	2,123	1,915	2,000

主要施策

(2) 発生抑制・再使用の推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア マイバッグ活動の普及啓発（資源循環推進課）

市の施設にチラシ・ポスター設置するとともに、ホームページで情報提供を行いました。

イ 家庭用生ごみ処理機等の購入補助（資源循環推進課）

重点プロジェクト

家庭用生ごみ処理機・処理容器の購入経費に対する補助を行いました。

項目 年度	補 助 数 (基)		
	電動生ゴミ処理機	微生物を使用する処理機	土を利用するコンポスト
H 2 4	5 3	1 4	1 2 2
H 2 5	5 7	1 4	9 2
H 2 6	6 0	1	5 9



ウ つくし推進事業による資源物集団回収の支援（資源循環推進課）

営利を目的としない市民団体（自治会、子ども会等）が自主的に実施する資源物回収活動に対し、その実績に応じて奨励金を交付しています（平成3年度制度開始）。

奨励金額は、平成25年7月から1kg当たり4円としています。ただし、古紙類（ダンボールを除く）は1kg当たり5円とし、古繊維類は1kg当たり7円としています。

平成26年度の実施団体数は、377となりました。

「つくし事業」という愛称は、市職員から募集して付けたもので、「つくしはすぎなになり、つくしにもどる」ように、不用になったごみも活用すれば、姿を変え資源に戻ることを表現するとともに、若い次世代を春のつくしに見立てて、将来にわたって資源を無駄にせず、自然を守ろうという思いも込めています。

平成26年4月から平成27年3月までに回収した資源物の量及び交付した奨励金は、以下のとおりです。

古紙類（新聞・雑誌など）		瓶類（一升瓶・ビール瓶など）		金属類		布類		缶類	
1,688 t	91.8%	15 t	0.8%	35 t	1.9%	41 t	2.2%	61 t	3.3%
合 計		1,840 t		交付した奨励金		8,777,262 円			

エ 事業系ごみに関するパンフレットの作成・配布（資源循環推進課）
各事業所に事業系ごみに関するパンフレットの作成・配布を行いました。

オ 簡易包装やレジ袋削減の取組み促進（資源循環推進課）
市内小売店等に対して、レジ袋無料配布中止の取組みへの参加呼びかけを実施しました。

カ リサイクルプラザの活用による再生品の利用促進（資源循環推進課）
リサイクルプラザでの放置自転車・不要家具の再生・販売、フリーマーケット等による物の交換、有効利用を図りました。



月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自転車	14	11	11	10	12	12	12	12	12	10	12	10	138
家具	33	36	37	31	33	37	33	32	32	31	20	31	386
合計	47	47	48	41	45	49	45	44	44	41	32	41	524

主要施策 (3) 分別・リサイクルの推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 確立された資源化ルートを活用促進（資源循環推進課）
市報、ホームページ、ごみ・資源収集カレンダー、ごみ分別の手引きを通じて情報提供を行いました。また、民間業者へごみ・資源の収集日等の情報を提供しました。

イ 小売店による資源店頭回収の促進（資源循環推進課）
レジ袋削減対策の啓発を実施しました。

ウ 資源物の市施設への積極的な受け入れ（資源循環推進課）
事業系資源物の無料受入れ（リサイクルプラザ外4箇所）に加え、年末清掃の時期に臨時資源物ステーションを4箇所開設しました。

《回収施設に排出された資源物の量》

年度 項目	H24	H25	H26
排出量（t）	3,109	3,219	3,306

主要施策

(4) 分別・リサイクルの拡大

具体的な施策・事業（担当課）

ア 資源物の排出機会の拡大（資源循環推進課）**重点プロジェクト**

資源物の拠点回収施設を設置することにより、市民の資源物の排出機会を拡大し、リサイクルに取り組みやすくしています。現在、24時間いつでも持込可能な資源物ステーションを4箇所設置しています。

資源物ステーションでは、缶・びん・ペットボトル・新聞・雑がみ・ダンボール・プラスチック製容器包装・紙製容器包装・紙パックの他に、蛍光管・乾電池・スプレー缶の拠点回収を行っています。



《資源物ステーション》

設置年度	設置場所	
平成17年度	周布町（大歳）	
平成18年度	小郡総合支所	秋穂総合支所
平成21年度	徳地総合支所	
平成25年度	周布町（大歳）拡張	

平成26年度は、年末の臨時資源物ステーションとして、以下の4箇所に開設し、収集しました。

- ・ 山口情報芸術センター第3駐車場（中園町7-7）
- ・ 平川小学校教職員駐車場（平井1675-2）
- ・ 県総合保健会館専用駐車場（吉敷下東）
- ・ 阿知須総合支所（阿知須2743）

イ 資源回収品目の拡大（資源循環推進課）**重点プロジェクト**

新たな資源回収品目の設定の可能性について、調査・研究を行いました。

主要施策

(5) 適正な廃棄物処理の推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 事業系ごみの組成分析・搬入物検査（資源循環推進課・環境施設課）
事業系ごみの資源化・適正搬入を推進するため、事業者が搬入する一般廃棄物の組成調査を実施するとともに、搬入物の検査を実施し、分別の指導を行いました。



《事業系可燃ごみ組成分析結果》

（単位：％）

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
紙類	4 2 . 8	3 4 . 1	3 3 . 1
厨芥類	1 9 . 3	2 2 . 9	1 7 . 2
プラスチック類	1 2 . 3	1 9 . 9	1 9 . 6
木・竹・藁類	1 5 . 1	9 . 6	1 3 . 5
布・繊維製品	0 . 3	6 . 7	6 . 5
ゴム・皮革類	2 . 1	0 . 1	0 . 5
その他可燃物	4 . 7	5 . 6	8 . 9
不燃物	3 . 4	1 . 1	0 . 7
合計	1 0 0 . 0	1 0 0 . 0	1 0 0 . 0

《搬入物検査結果》

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
搬入物検査日数	2 4 4	2 1 6	2 2 2
分別指導件数	1, 6 3 6	1, 1 0 6	8 9 1

イ 不燃ごみや古紙類の持ち込み制限の実施（資源循環推進課・環境施設課）**重点プロジェクト**
市処理施設（不燃物中間処理センター、阿知須清掃センター、阿東クリーンセンター）で品目の制限及び4トン制限を実施しましたが、事業系不燃ごみの処理量が前年度より18.11%増加しました。

ウ 市民サービスの充実（清掃事務所）

市内全域で排出が困難な粗大ごみを有料で戸別訪問し、収集しました。

エ ごみ・資源物の収集回数、品目等の統一（資源循環推進課）

平成24年度末をもって、収集回数、収集品目の統一を行いました。条件整備として、ごみステーション設置等への9割補助を行い、ごみの排出方法変更及び分別説明会を各自治会単位で行いました。

→ごみの排出方法変更及び分別説明会：計9回（参加者1, 187名）

基本施策② エネルギーの消費抑制と有効利用の推進

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
緑のカーテンの実施割合（家庭）【再掲】	箇所	H19	—	H25	21.2	H26	18.6	↓	H24	5.0	H29	10.0
★住宅用太陽光発電システム設置件数【再掲】	件	H19	1,047	H25	471 (3,175)	H26	1,895 (5,070)	↑	H24	1,400	H29	2,000
★廃食用油からの年間BDF精製量	kℓ	H19	10.8	H25	6.6	H26	6.1	↓	H24	10.9	H29	11.3

【評価（数値目標の達成状況等）】

「廃食用油からの年間BDF精製量」は、微減となっていますが、使用用途が限られているため、今後の使用用途の拡大が課題となっています。

【主な取組状況（平成26年度）】

主要施策	(1) 省エネルギー・省資源の取組みの推進
具体的な施策・事業（担当課）	
ア グリーン購入等の普及啓発（環境政策課） 山口市グリーン購入の調達方針に基づき、購入に努めました。また、ホームページによる情報提供を行いました。	
イ 環境負荷の少ない運転技術の普及啓発（環境政策課） 重点プロジェクト 【再掲】P24に掲載	
主要施策	(2) 新エネルギーの利活用の推進
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 公共施設における新エネルギーの導入（環境政策課） 重点プロジェクト 【再掲】P20に掲載	
イ 家庭向け新エネルギーの普及促進（環境政策課） 重点プロジェクト 【再掲】P22に掲載	
ウ 廃食用油の利活用（資源循環推進課） 重点プロジェクト 【再掲】P24に掲載	